

東京の経営者と ものづくり談義

ぎふしん青年重役会

岐阜信用金庫と東京東信用金庫の取引先の若手経営者らによる交流会が25日、東京都内であり、参加者が



ビジネスやものづくりについて意見交換した。
岐阜信金の取引先の若手

経営者でつくるぎふしん青年重役会の東京視察の一環。同会からは約20人が参加し、ベンチャー企業支援にも取り組む金属加工の浜野製作所（東京都墨田区）などを見学した。26日は豊洲市場を訪れる。

交流会では、印刷工房（掛斐郡大野町）の石垣雅啓営業総務部長が「岐阜と東京は新幹線で約2時間の距離。これを機にビジネスや交流につなげていきたい」と述べ、乾杯の発声をした。写真。参加者は食事を楽しみながら歓談した。